



ペンテコステ

E-Mail : taniyama-cc@lagoonne.jp URL : <http://www5.ocn.ne.jp~tvcc/>

発行人：頭島光神父 編集委員：上原敏子、上釜照美、徳永珠美

2022年 6月1日

(毎月1回1日発行)

カトリック谷山教会

〒891-0113

鹿児島市東谷山2-33-13

TEL・099-268-2084

FAX・099-284-5738

「共に旅する教会の民」

カトリック谷山教会 主任司祭 トマス頭島光



6月に入り、私たちは7週間にわたる復活節を終えます。これからは福音をいかに生きるかを共に考え、一歩ずつ前に歩みましょう。シノドスは、まさにこれから始まるのです。私たちは「共に旅をする」教会の仲間ですから、再度、自身を見直すところから始めてみましょう。そして、信仰の絆で、私たち一人ひとりが固く結ばれていることを見出してください。そうすれば、私たちは、共に同じキリストの愛に留まり、前に進むことができるでしょう。聖霊は思いのままに吹いて、私たちを導いて下さいます。

◆ 聖霊の注ぎ

聖霊は福音の力、愛の実りをもたらす、神からの賜物です。聖霊の注ぎなしには、私たちは何もできません。聖霊が道を示して下さいますから、私たちはただ素直に心を開き、その息吹を受け止めましょう。そうすれば福音は実り、成熟し、収穫の時となるでしょう。これこそ、洗礼と堅信のお恵みです。皆さん、教会がその新しい実りの果実を見ないなら、まだ肥しが足りないのです。もう少し、お水も注いでみましょう。ひよっとしたら、光も足りないかもしれません。皆さん、思い出して下さい。洗礼を受け、堅信の秘跡を受けたときのあの喜びを。

◆ 信仰の旅

私たちが「共に歩む」と言うとき、それは信仰の旅路のことです。教会という大きな船に、たまたま乗り合わせただけでもありませんが、もはや途中で下船はできません。私たちの船頭はイエス様です。舵をとって下さるのは神のみことばです。このみことばを聴けば、どこに行けばよいのか、何をすればよいのか。すぐに分かります。聖霊という風が吹いてきて、私たちを進むべき道へと招いて下さいます。陸に上がったら福音の種蒔く仕事が待っています。そして誰かが私の呼びかけを聴くでしょう。神の恵みを待ち受けている人々なら、あなたの愛に気付いてくれるでしょう。

◆ 世界の悲劇

新型コロナウィルス感染症は世界に大きな打撃を与え、人類の歴史に悲劇を生み出しました。世界は今や大きな一つの船に乗っています。だから、ウィルスは瞬間に世界を覆ってしまったのです。一体、何が起こったのか、それは「一人の



人の悪によって、すべての人が傷ついた」ということです。言葉を変えて言うならば、「一人が救われるために、共に救われる道しかない」ということです。今こそ、私たちは一部の人の利益ではなく、すべての人の利益とは何かを共に考え、一歩前に進みたい。

◆ 蒔かれた種

世界の悲劇は、人と人の関係、尊い絆を断ち切ったことです。コロナが、戦争が、その悪の原因です。しかし、世の始めから蒔かれていた種を思い起こしてください。今、目の前に広がる悲劇的現実、一時的なものに過ぎません。やがて、このような罪深い種は枯れ果てるからです。しかし、ただそれを待つのではなく、行動を起こす必要があります。この悲劇は、誰のせいでもありません。私たちに今、必要なことは互いに尊重し、認め、愛し合って生きることです。みんなが幸せになるために、あなたの手が必要なのです。あなたの笑顔も入用です。今のどんな苦しみも決して無駄ではありません。明日の実りの種となるからです。新しく生まれ出るために、既に「蒔かれた良い種」をお互いの中に見出しましょう。

◆ 癒しの傷

復活されたキリストがトマスに見せられたものは、十字架の痛みの傷でした。この痛みを味わったのは皆の心の癒しのためでした。主が苦しみを甘んじ受けたのは、皆が喜びを得るため、しかも豊かに与えられるためでした。愛の実りは、十字架からもたらされました。聖霊は、復活の主から受けた約束の賜物、希望の賜物です。私たちが互いに肩寄せ合いながら共に歩み、進んでいくために必要な糧です。愛はすべてを覆い、救いへと私たちを導いています。

イエスのみ心は全人類に対する神の愛の象徴としてイエスの心臓を表し、その信心はイエスのみ心に表される神の愛を思い起こし、その無限の愛のしるしであるみ心をたたえるものとして中世に始まりました。

24日 イエスのみ心



またこのようなイエスの出現が数回にも及び、ご聖体の祝日(キリストの聖体)後の金曜日をみ心を礼拝する特別な祝日として定めるようにとのお告げにより、み心の信心の内容と形式が明確にされるようになりました。

そして1856年に教皇ピオ9世によってイエスのみ心の祭日がご聖体の祝日後の金曜日に全世界で祝うことが定められました。ご聖体とみ心の主日がおおよそ6月に祝われるというこのような歴史からして、次第に6月が「イエスのみ心の月」と自然に浸透し、制定されてきたことは十分に考えられます。

-カトリック中央協議会-

特に聖マルガリタ・マリア・アラコック(1647-90)がみ心の信心についての啓示を受けて17世紀にフランスで広まりました。1675年6月16日、この聖女はご聖体を前にして、イエスの愛にこたえたいという思いに駆られました。そのときイエスは、愛情に燃えているみ心を示して、人々の間に存在する冷淡な心を嘆かれ、イエス自身の愛に倣ってその心を尊ぶことを勧められました。

27日 絶えざる御助けの聖母

イコンというビザンチン様式の絵画法で描かれたこの聖母子は、15世紀中頃にオスマン・トルコのイスラム教支配からクレタ島に逃れた無名の画家の手によるものです。同世紀末になってローマの聖マタイ教会に移され、3世紀に渡って人々の崇敬を受けていましたが、1798年にフランス革命の余波で聖堂が破壊され、長い間行方不明になっていました。1863年になってやっと見いだされ、聖マタイ教会の跡地に建てられていた聖アルフォンソ教会の中央祭壇に、教皇ピオ9世の手で再び掲げられました。以来レデンプトール会はこの聖画への崇敬と普及の使命を委託され、今日にいたっています。



■ マリアのまなざし

まず目に飛びこんでくるのは、聖母マリアです。彼女はイエスでも天国でも、まわりの天使たちでもなく、大切なことを伝えるかのように、私たちにまっすぐにまなざしを向けています。

■ ICXC



幼子の右に置かれたこの文字は、ギリシャ語で「イエス・キリスト」を表す頭文字です。

-レデンプトール会 ホームページより-

1日 聖ユスチノ殉教者

103年ごろ～165年ごろ



ユスチノは、パレスチナのネアポリスに生まれました。若いころから哲学の勉強をし、ストア、ピタゴラス、プラトンなど多くの学派の研究を行った。その後、ある老人との出会いによって、聖書を読み祈ることを知り、

30歳の時に洗礼を受けた。そして、キリストの教えを最高の哲学、最高の道徳として実践し、模範的な信仰生活をして、小アジアやギリシャの町を遊説した。

時のローマ皇帝アントニーノのキリスト教徒迫害に際しても、公に信仰を宣言した。そして、彼の書いた護教書がローマの役人から嫌疑をかけられ、ユスチノは逮捕され殉教した。ユスチノによれば、「世界にあるすべての真理はただひとつの源泉、キリストから出ている。キリスト教は、永遠の真理そのものであり、すべての哲学や学問の完成である。」彼は、キリスト教徒最初の偉大な哲学者といわれる。

-女子パウロ会聖人歴より-

ハンス・ハヌス神父様
心に残ることばより

- 失敗+グチ=失敗 (繰り返し)
- 失敗+反省=経験
- 失敗+反省+研究=熟練
- 失敗+反省+研究+謙虚=円熟

人生の数字



皆さま、よろしくお願いいたします。

なんり南里様一家が長崎、長与教会より転入されました。4班になります。よろしくお願いいたします。



ようしく
お願い
します

-訃報-
4月15日 大徳さちさん(93歳)が帰天されました。

2022年6月<ミサ典礼>の朗読及び先唱奉仕のお願い

6月は「水無月」と言います。梅雨なのになぜ?と思いますが、旧暦では8月にあたるので、納得です。梅雨とは関係ないのですね。この時期は、お腹を壊し易いので、体調管理に気を付けましょう。

さて、聖霊降臨祭後、復活節が終わって年間が始まり、この6月は特にキリストにまつわる三位一体、キリストの聖体といった祭日が続きます。そして、6月27日は「絶えざる御助けの聖母」の祝日です。共に聖母に祈り、世界が平和でありますように祈りましょう。この聖母の祝日は平日の月曜日ですが、今月18日の土曜日のミサからこの聖画像を祭壇前に安置します。引き続き、ウクライナの人々の平和を求めて聖画の聖母に、平和を求めて御助けを願い祈りましょう。

また、これからもコロナウィルス感染症対策として引き続き、手指消毒、検温及びマスクの着用を心掛けて参りましょう。聖堂内は80人と制限付きですが、聖歌は歌いましょう。典礼と朗読の奉仕に、これからもご協力を願います。積極的に典礼に参加することで信仰も深まります。愛と奉仕の心で神に賛美と感謝を捧げましょう。

◆受付での手指消毒及びマスク着用と検温、そして署名等のカード記入に協力願います。

◆三密回避として9時ミサの聖堂入場制限は80人のまま続けます(*但し、典礼奉仕者を除く)。

◆上記の人数を超えても、玄関ロビーからであれば参加が可能です。

◆尚、泣部屋は子ども連れのご家族に割り当てられています。

◆聖堂内では座席番号を間違えないように、ご着席ください。

◆一部、窓を開けての換気、空調の送風と加湿器の稼働は、これまでと同様に続けています。

◆聖体拝領は、一列に並び、前後1m程度、間隔を空け、ゆっくり前へと順にお進みください。



絶えざる御助けの聖母

■6月の典礼の先唱及び朗読の役割分担は以下の通りです。

◇ 6月5日	聖霊降臨祭日	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 10 班
◇ 6月12日	三位一体祭	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 1 班
◇ 6月19日	キリストの聖体祭	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 2.3 班
◇ 6月26日	年間第13主日	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 4 班

★さて、新しい典礼の研究会は5月12日(木)をもって終了いたしました。参加して下さった信徒の皆さんには、心から感謝です。今後は、「新しいミサ次第及び典礼書」が入荷した時点で、随時、勉強会を開催していきたいと考えています。その際には、是非、典礼委員会のメンバーはできるだけ、参加しましょう。勿論、その他にも勉強したい方があれば、誰でもどうぞ。積極的にご参加くだされば幸いです。お知らせいたしますが、勉強会の時間は、夕方6時半から一時間程度です。曜日は木曜日を予定しています。

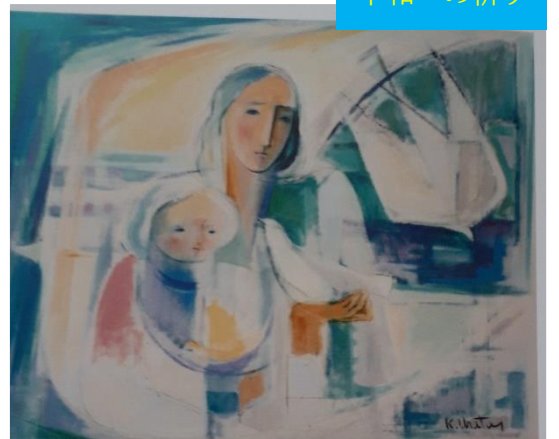
2022/6/1 主任司祭 トマス頭島 光

いのちの扉に風が吹くとき

—浦田カズ代絵画・詩集—より

平和への祈り

終わりになき戦争
人間は愚かにも
同じ歴史を繰り返している
生きてきた命の営みは
無意味であったかのように
築かれた高層ビルが
瞬く間に崩れ落ちる
知恵と知識の集積の人生が
空虚な物語であったかのように
命が再生できる物質のごとく
無残にも奪い去られる
この暴力の連鎖は
いつまで続くのか
愛のない終わりになき戦争



令和4年(2022年)谷山教会06月の予定と祝日表(06月01日~06月30日)

日 時		典礼と行事	朗読奉仕者	掃除当番	班会
1日	水	記念日 19:00 聖ユスチノ殉教者 召命ミサ			
2日	木	6:30 朝ミサ			
3日	金	記念日 19:00 聖カロロ・ルワンガと同志殉教者 初金ミサ *世界女性祈祷の祈り			
4日	土	19:00 聖霊降臨の主日のミサ		⑩	教会
5日	日	祭日 6:30&9:00 聖霊降臨(小教区記念日) 聖霊降臨の主日	⑩		
6日	月	記念日 6:30 教会の母聖マリア(年間第10週) 朝ミサ *主任司祭:東京出張			
7日	火	朝ミサなし			
8日	水	19:00 召命ミサ			
9日	木	6:30 朝ミサ			
10日	金	6:30 朝ミサ			
11日	土	記念日 19:00 聖バルナバ使徒 三位一体主日のミサ		①	教会
12日	日	祭日 6:30&9:00 三位一体 三位一体の主日(年間第11週) *15:00~教会役員会	①		
13日	月	記念日 6:30 聖アントニオ(バドバ)司祭教会博士 朝ミサ			
14日	火	6:30 朝ミサ *主任司祭西都へ			
15日	水	19:00 召命ミサ			
16日	木	6:30 朝ミサ			
17日	金	6:30 朝ミサ			
18日	土	19:00 キリストの聖体の主日のミサ *9:00~草刈り 司牧評議会設営		②③	教会
19日	日	祭日 6:30&9:00 キリストの聖体 *ミサ後 司牧評議会/14:00~コミチウム キリストの聖体の主日(年間第12週)	②③		
20日	月	6:30 朝ミサ			
21日	火	記念日 6:30 聖アロイジオ・ゴンザガ修道者 朝ミサ			
22日	水	19:00 召命ミサ			
23日	木	祭日 6:30 洗礼者聖ヨハネの誕生 朝ミサ *18:30~典礼委員会			
24日	金	祭日 6:30 イエスのみ心 朝ミサ			
25日	土	記念日 19:00 聖母のみ心 年間第13主日のミサ		④	教会
26日	日	6:30&9:00 年間13主日 *14:00~市内地区信徒会	④		
27日	月	6:30 朝ミサ/絶えざる御助けの聖母(祝日)			
28日	火	記念日 6:30 聖イレネオ司教殉教者 朝ミサ			
29日	水	祭日 19:00 聖ペトロ聖パウロ使徒 召命ミサ			
30日	木	6:30 朝ミサ/福者ジェナロサルネリ(レデンプトル会記念日)			

今月の行事当番班は8・9班です

ロザリオの祈り	毎週火曜日 10:00~	7, 14, 21, 28日
レジオ・マリエ	毎週水曜日 14:00~	1, 8, 15, 22, 29日
聖書と教理-Ⅱ	毎週金曜日 10:00~12:00	3, 10, 17, 24, 日